



©Fox1214



©まぐろ鮓



©yamachi

あだちで
み
見つけた

生きもの なまえ エーアイ はんてい の名前を AI で判定！
生きもの はっけん のコレクションアプリで発見！



©Iroako

生きもの 図鑑

2024 はる なつ へん 春夏編



©りのんぶい

1,324人 にん のみなさんの さつえい 撮影・とうこう 投稿により
「足立区 あだちく だけの い 生きもの ずかん 図鑑 (2024 はるなつへん 春夏編)」
できあ が出来上がりました！



©風部



©ミヤマカラスアゲハ



©てくてくあるく



あだちく い 足立区にはどんな生きものが
くらしているのでしょうか？

いっしょ さが 一緒に探しに行きましょう！

キビタキ

スズメ目ヒタキ科

春になると海外から日本に渡ってきます。オスは胸が濃いオレンジ色です。



©隆爺

ニホンアマガエル

無尾目アマガエル科

木の枝や葉の上で暮らします。周りの環境によって体の色を変えます。



©風都

アオスジアゲハ

チョウ目アゲハチョウ科

はねの水色の模様が特徴です。都市部でもよく見られるチョウです。



©ミヤマカラスアゲハ

ヤマブキ

バラ目バラ科

「山吹色」の由来になっている植物で、春に黄色い花を咲かせます。



©iroako

スギナ

トクサ目トクサ科

春に見られる「つくし」は、スギナの胞子を飛ばす役割をもっています。



©スモモモコ

絶滅危惧種

オオタカ

タカ目タカ科

東京都レッドデータブック(区部)で絶滅危惧IB類(EN)に分類される大型の猛禽類です。足立区では舎人公園などに生息していることが知られています。



©隆爺



カイツブリ

カイツブリ目カイツブリ科

水に潜って魚などを捕まえます。「キリリ」と大きな声で鳴きます。



©隆爺

ニホンカナヘビ

有鱗目カナヘビ科

塀の隙間などによく潜んでいます。手足の指が長いのが特徴です。



©隆爺

クロベンケイガニ

十脚目ベンケイガニ科

河川の泥地や草地でよく見られます。黒いごつごつした体が特徴です。



©めいめい♡

ショウリョウバッタ

バッタ目バッタ科

大型のバッタです。オスは「チキチキ」と音を出しながら飛びます。



©たかさん0417

ワルナスビ

ナス目ナス科

初夏になると星形の花を咲かせます。茎や葉にはトゲが生えています。



©てくてくあるく

みんなで見つけた 生きものたち！ 2024 春夏

外来種

カムルチー

スズキ目タイワンドジョウ科

ライギョとも呼ばれる、アジア大陸東部原産の肉食性の大型淡水魚です。足立区では堀川に生息していることが知られています。



©中3になったタナゴ釣り初心者



生きもの調査2024 結果

あだちく内には生息・生育する動植物の写真をスマートフォンアプリ「Biome (バイオーム)」に投稿してもらうことで、あだちの生きものの発見情報を集めました。



見つかった数 見つかった種類

はる ちょうさ
春の調査
(2024年4月1日～5月12日)

9,186 件

1,677 種類

なつ ちょうさ
夏の調査
(2024年7月20日～8月31日)

5,332 件

1,214 種類

※上記の数値は調査期間中に足立区全域からアプリ「Biome (バイオーム)」に寄せられた全投稿を集計したものです
※種類の登録はアプリユーザー自身によるもののため一部不確かなものが含まれている可能性があります
※質問投稿(種類が分からなかった投稿)は種類の集計に含まれておりません

生きものの「入れ替わり」に注目!

私たちの身近な自然の中では「もともとそこにいた生きものが、別の生きものに入れ替わってしまった」という状況がよく見られます。入れ替わりが起こってしまうと、もともとそこに生息していた在来の生きものや自然に様々な

影響を与え、場合によっては元の自然が修復できないレベルで壊れてしまう心配もあります。そのため、入れ替わりに注目して、自然の変化の早期発見に備えていくことが重要です。

「あだち生きもの調査」の結果から見られる入れ替わり!?



池や川辺でよく見かける外来のカメ「ミシシippアカミミガメ」



在来のゴマダラチョウによく似た「アカボシゴマダラ(大陸亜種)」



繁殖力が強い外来のカタバミ「オオキバナカタバミ」

あだちの自然の特徴

足立区の周囲は、荒川をはじめとした河川に囲まれており、豊かな水辺環境が広がっているため、水辺の生きものを市街地などでも身近に見ることができます。また、舎人公園、元湊江公園には河川敷に

生息している昆虫や鳥が多く飛来します。さらに、これらの昆虫や鳥を食料にする動物が公園に生息します。結果、足立区ではたくさんの生きものに出会うことができます。



あだち生きもの発見マップ

今回の調査から分かった、足立区の中でも特にたくさんの生きものに出会えるおすすめの場所を紹介します。ぜひ発見マップを確認しながら、生きものさがしにでかけてください。



「見つけた数」「見つけた種類」は、調査期間中に各場所から寄せられた発見情報を集計したものです。写真は調査期間中に各場所で撮影されたものです。

おすすめの自然環境 樹林 草地 池沼・水路 河川

※上記の数値は調査期間中に足立区全域からアプリ「Biome (バイオーム)」に寄せられた全投稿を集計したものです
 ※種類の登録はアプリユーザー自身によるものため一部不確かなものが含まれている可能性があります
 ※質問投稿（種類が分からなかった投稿）は種類の集計に含まれておりません

⑤ 都立東綾瀬公園

見つけた数 323 件
見つけた種類 162 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

⑥ 荒川千住新橋緑地(わんど広場)

見つけた数 247 件
見つけた種類 129 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

① 桑袋ビオトープ公園

見つけた数 112 件
見つけた種類 70 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

② 元洲江公園

見つけた数 215 件
見つけた種類 135 種類

※足立区生物園の飼育展示等、一部園内の集計から除外しているものがあります

ここで見つけた代表的な生きもの

⑦ 新田わくわく♥水辺広場

見つけた数 112 件
見つけた種類 80 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

⑧ 都市農業公園

見つけた数 402 件
見つけた種類 235 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

③ 佐野いこいの森

見つけた数 10 件
見つけた種類 10 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

④ しょうぶ沼公園

見つけた数 94 件
見つけた種類 64 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

⑨ 都立舎人公園

見つけた数 1,322 件
見つけた種類 387 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

⑩ 見沼代親水公園

見つけた数 42 件
見つけた種類 31 種類

ここで見つけた代表的な生きもの

シチズンサイエンスで、

大きな課題に挑戦する



シチズンサイエンスのあゆみ

シチズンサイエンス（市民科学）とは、専門科学者ではない一般の人々が参加して行われる科学的活動の事です。

地球規模の環境問題などの課題や社会課題の解決に向けて、一般の人々の科学への参加に注目が集まっています。

科学研究というと生活からは遠いイメージがあるかもしれませんが、身近な生きものを見つけてアプリで投稿する「あだち生きもの調査」も、シチズンサイエンスのひとつです。

みんなで実現！あだちのシチズンサイエンス

アプリ「Biome（バイオーム）」には足立区から約9万4千件の生きものの発見が寄せられています。希少種や外来種も多く見つかっています。科学者や専門家だけでは時間がかかりすぎるような大規模なデータ収集ができました。そして、みんなの発見情報は、

アプリを使うことで素早くデータの整備ができます。ひとつひとつの報告が、積み重ねることによって巨大な情報基盤を作ることができます。これらのデータを使って、外来種の侵入にいち早く気が付いたり、希少種がどこに分布しているかを解析できます。



みんなの力でネイチャーポジティブ社会をつくらう！

日本を含め、世界の様々な国や地域の人々が、生物の絶滅を食い止め回復させる「ネイチャーポジティブ」社会をつくる努力を行っています。

自然の回復を評価するためにも、みなさまから寄せられた「生きものが実際にそこにいた」ことの証となる発見報告が重要な鍵となります。



ぜひ今後もあだち生きもの調査にご参加いただき、あだちのネイチャーポジティブを実現しましょう！

あだちで見つかったタカの間「ツミ」は東京都の絶滅危惧種に指定されている貴重な鳥です。

バックナンバー

2021^{ねん}年



2022^{ねん}年



2023^{ねん}年



いずかん
あだち生きもの図鑑を
つくろう!

バックナンバーはこちらをチェック!

令和6年11月発行
発行：足立区
制作：足立区環境政策課
監修：株式会社バイオーム

15 陸の豊かさも
守ろう

